

自分と相手の人権を守る

性的同意

性的同意ってなに？

あなたは今のパートナーと性について話したことはありますか？恋人や夫婦間などの性的な行為でも、「性的同意」がとれていない場合、それは性暴力となります。

「性的同意」とは、性行為について、お互いの意思を確認することです。海外では、性犯罪を抑制するための柱となっています。「付き合っていれば性行為は当たり前」「家に泊まるのは性行為をしてもいいというサイン」といったような思い込みで、相手の意思を確認せずに行動することは、「性被害」や「性暴力」につながる可能性があります。

例えば、女性が彼氏の部屋を訪ねた時に、当然OKだよなと思われたのか、彼女はそんなつもりも、同意もないけれど結局セックスしてしまった。それを誰かに相談すると「彼の家に行ったのが悪い」と、むしろ相談相手から責められる。このような事態は、被害を一層深刻にしています。内閣府「男女間における暴力に関する調査」（平成29年）によると、性被害にあっても、どこ（だれ）にも相談しなかった女性は58・9%となっています。

性的同意の「伝え方、受け取り方」

性暴力は、夜道に見知らぬ人から襲わ

れるというよりも、知っている人や好きな人から被害を受ける場合が多く、その割合は前述の調査によると約80%と報告されています。「NO」の伝え方、受け取り方のトレーニングも必要となります。断られたからと言って人格を否定されたということではありません。

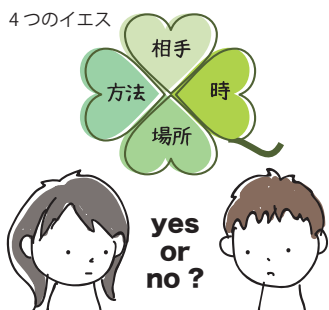
「紅茶」を例にすると、紅茶を勧められても紅茶が好きではない人や、今は飲みたくない人もいます。セックスも同じです。今日は性行為をしたくないと「伝える」ことや、今日はしたくないと言ったことに対し、その「気持ちを受け取る」ことが大事です。

積極的な4つのイエス

性的同意は、相手と「対等、平等」な立場であることが基本です。その中で「合意、納得」しているかです。「合意、納得」というのは心からのイエスで、次の4つを同意することです。1つめは「相手」、2つめは、今日は嫌などの「時」、3つめは、ここでは嫌だという「場所」、そして4つめは、避妊する・しないなどの「方法」です。これらの4つの合意が満たされてこそ性的同意が取れたといえます。

（高橋ひ）

4つのイエス



性的同意を取るって、
どういうこと？
チェックはいくつ入りますか？

- ☐ 二人きりでデートに行くことは、性行為を前提としている
- ☐ キスをしたら、性行為をしてもいい
- ☐ 相手がイヤと言っているのに、「イヤよ、イヤよ、も好きのうち」なので、性行為をしていい
- ☐ 相手がイヤと言っていなかったら、性行為もOKのサインである
- ☐ 酔った勢いで、性行為に及ぶのはしかたがない
- ☐ 互いに成人していれば、性行為の際に同意を求める必要はない
- ☐ 家に泊まるのは、性行為をしてもいいというサインだ
- ☐ 付き合っていれば、性行為をするのは当たり前だ
- ☐ 同じ相手に、毎回、性行為の同意を取る必要はない
- ☐ ナイトクラブに来る人は出会いや性的交遊を求めて来る人が多いので、性行為の際に同意を取る必要はない

（ウィングス京都 GENDER HANDBOOK より引用）

「【いつでもチェックが入ったら要注意！】
性的同意は取れていないということ
です！」



性的同意についてのハンドブックをご紹介します。

どちらも若者の視点で考えて作った、とても分かりやすいハンドブックです。

就活におけるセクハラも話題に上がる中、あらゆる世代に性的同意を広く知ってもらう必要があります。身近な人が被害に遭わないよう、性によって傷つくことのない社会を作るために、大切な人と一緒に読んでください。

■セクシュアル・コンセンスト（性的同意）ハンドブック

あなたらしく大学生活を送るための方法！
一般社団法人ちゃぶ台返し女子アクション制作
2018年4月発行



■ウィングス京都 GENDER HANDBOOK 必ず知ってほしい、とても大切なこと。 性的同意

公益財団法人 京都市男女共同参画推進協会 関西の
大学生有志作成 2018年8月発行



※インターネットからダウンロードできます！